

対象国の条件:

研修コース番号:(A)J1804373/(B)J1804367

案件番号:(A)1884801/(B)1884802

主分野課題:環境管理/一般廃棄物

副分野課題:

使用言語:(A)英語/(B)ダリ語

**案件概要**

本コースは、廃棄物管理に携わる技術者を想定しており、中でも収集・運搬サービスのある程度確立し、処分場の衛生埋立、ごみ減量化、3Rを目指す地域を対象としている。環境モデル都市の北九州市には日本初のエコタウン等先進技術が集積している他、準好気性埋立(福岡方式)、コンポスト技術、産業廃棄物処理技術等、豊富な実践例を学ぶことができるカリキュラムとなっている。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**  
 廃棄物管理(特に、廃棄物の最終処分及び中間処理)の技術改善に係る計画が自国の環境管理担当部署に提案される。

**【成果】**  
 1. 北九州市をはじめ、日本の廃棄物管理政策・行政の概要を説明できる。  
 2. 廃棄物管理の各過程(収集・運搬、焼却、中間処理、最終処分)について、日本で採用されている技術・手法を説明できる。  
 3. 日本の産業廃棄物管理について、政策の概要、再資源化技術、及び最終処分方法を説明できる。  
 4. 自国の技術改善に資するアイデアが特定される。

**【対象組織】**  
 廃棄物管理を担う行政関連組織

**【対象人材】**  
 1. 廃棄物管理(収集・運搬、中間処理、最終処分)に携わる技術者  
 2. 職務経験3年以上

**内容**

以下の内容について、講義・見学・実習を行う。  
 1. 北九州市の廃棄物管理計画、循環型社会の推進、エコタウン、ライフサイクルアセスメント(LCA)、開発途上国の廃棄物管理と日本の支援  
 2. 分別収集、ごみ焼却技術、リサイクル技術(エコタウン事業)、コンポスト、バイオガス、RDF、最終処分場の構造及び維持管理、浸出水処理、ごみの組成分析  
 3. 産業廃棄物行政、不法投棄対策、汚泥・廃油・プラスチック等の処理と再資源化技術、有害廃棄物処理、医療系廃棄物処理  
 4. ジョブレポート発表、課題分析ワークショップ、レビュー討論、アクションプラン作成指導

**本邦研修期間**

(A)2018/7/8~2018/9/8  
 (B)2018/10/14~2018/12/15

**担当課題部**

地球環境部

**所管国内機関**

(A)JICA九州  
 (B)JICA九州

**関係省庁**

**実施年度**

2017~2019

**主要協力機関**

(A)公益財団法人 北九州国際技術協力協会 (KITA)/ (B)公益財団法人 北九州国際技術協力協会 (KITA)

**特記事項  
 及び  
 ホームページ**

公益財団法人北九州国際技術協力協会 (KITA)  
<http://www.kita.or.jp/>